

# [川崎大師平間寺その他伽藍]見学レポート

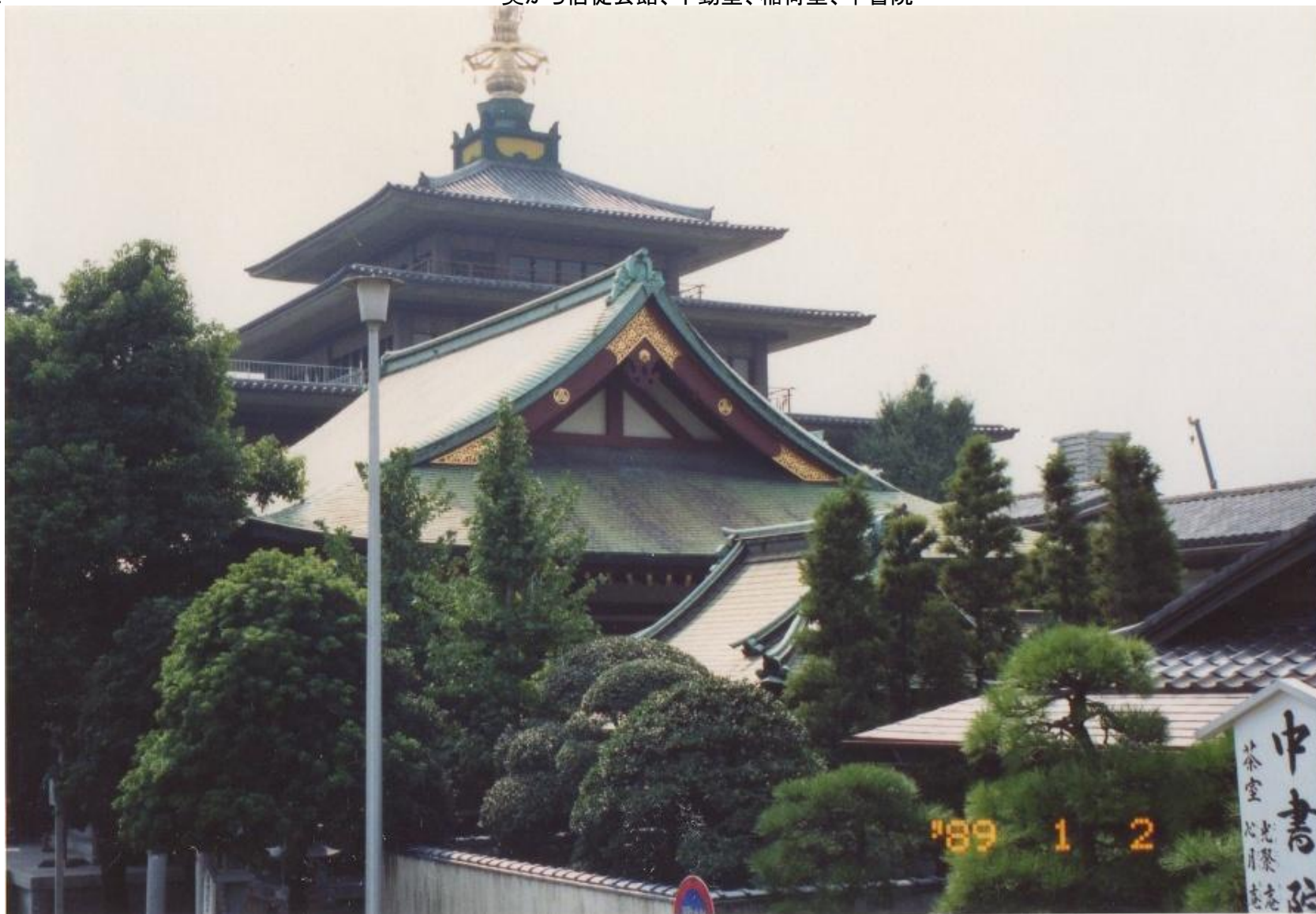
左から本堂、金剛閣、総受付

資料 1



資料 2

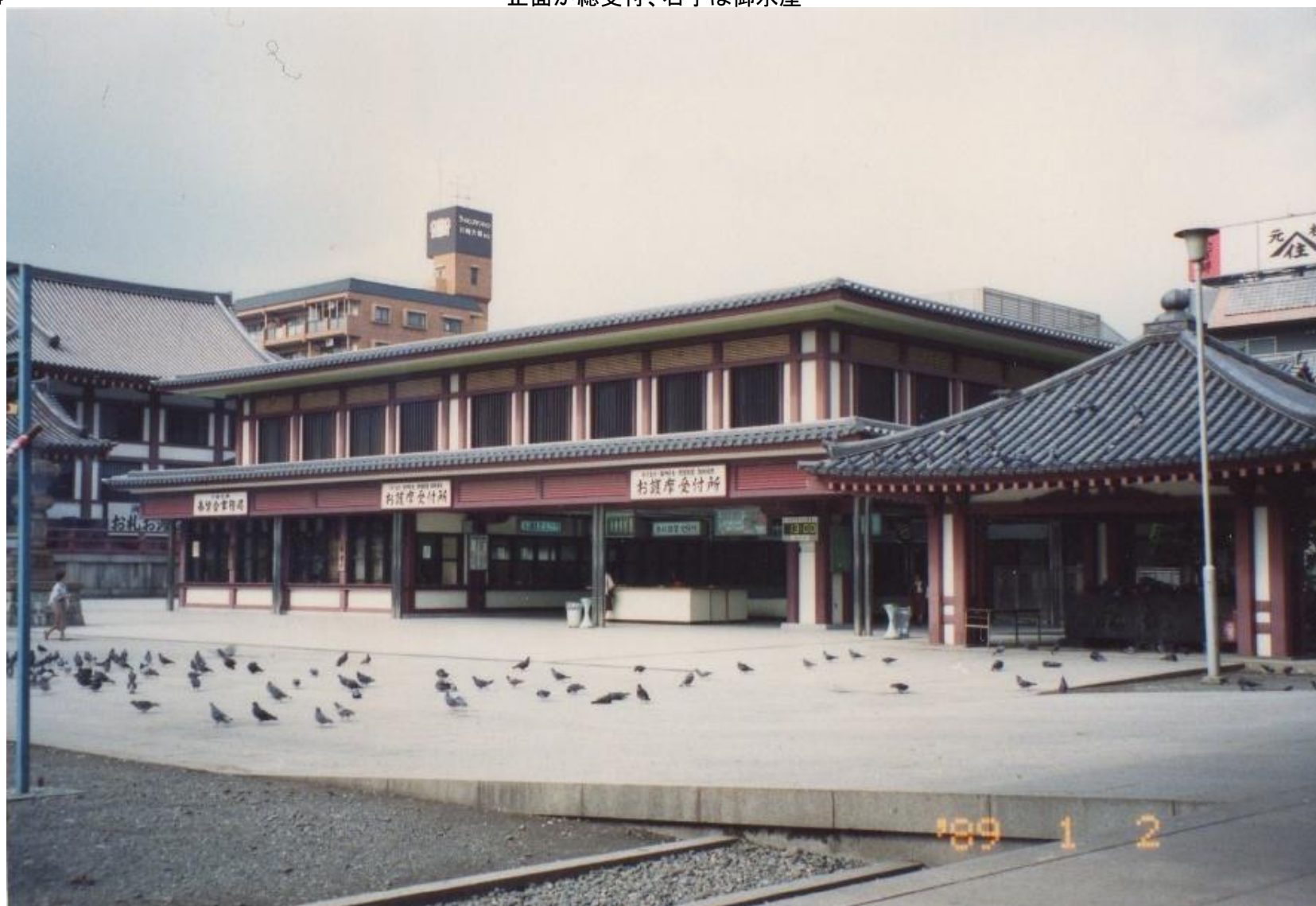
奥から信徒会館、不動堂、稲荷堂、中書院





資料 4

正面が総受付、右手は御水屋







昭和52.06(1977)～52.11に助手の松浦弘二が意匠設計共、S造(一部木造)で建立した。構造設計・施工はともに大林組であった。しかしその後境内再整備に伴い、解体され、現在は別の場所に平成13年(2001)新たに納札殿が建立されている。



川崎大師平間寺 不動堂  
御本尊は、成田山不動明王のご分尊です

この明王は 衆生の意に随って利益をなし  
求むるところを円満せしめたもう (仏説聖不動經)











鉄筋コンクリート単層入母屋造り、

向拝唐破風付

本屋間口一・七メートル(三九尺)

奥行一〇メートル(三三三尺)

高さ一〇・七メートル(三五・六尺)

総工費三千万円(昭和三十九年現在)

資料 12

浮御堂と降魔釈迦



資料 13

浮御堂と降魔釈迦



資料 14

浮御堂



資料 15

浮御堂





資料 17

浮御堂、遠方は大本坊









昭和38.10(1963)～39.05に助手の松浦弘二が意匠設計共、木造で建立した。構造設計は松浦弘二、施工は大林組であった。しかしその後境内再整備に伴い、解体された。











# 金剛閣

正面が金剛閣









年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和54	1979	川崎大師 金剛閣	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和54～57.11	松浦弘二 (意匠設計共)	松本構造設計	大林組	SRC造

奥から信徒会館、不動堂、稲荷堂、中書院



# 不動堂

不動堂

















## 8.不動堂



不動堂は明治23年の創建で、現在の不動堂は、昭和39年4月に建立されたものであります。

その御本尊・不動尊像は成田山新勝寺御本尊のご分躰・大聖不動明王を勧請し奉ったものであります。

毎月28日がお不動様のご縁日です。

「武相不動尊霊場第一番札所」

「関東三十六不動霊場第七番札所」

年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和38.06	1963	川崎大師 不動堂	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和38.06～43.05	松浦弘二 (意匠設計共)	大林組	大林組	RC造

# 稲荷堂

稲荷堂



鳥居は明神鳥居形式である



## 9. 福德稻荷堂



昭和20年4月15日未明の空襲では大本堂をはじめ、ほとんど全てのお堂を焼失しましたが、その難を逃れ残る貴重なお堂が福德稻荷堂であります。

稻荷は倉稻魂神といい五穀を司る神で、当山では毎年2月21日には[福德稻荷年祭](#)が執り行われます。

# 中書院

中書院



大岡實建築研究所では監理のみ行なった。



## 10.中書院



中書院は昭和41年5月落成し、2つの茶室を備え庭園には当山に古く伝わる「月の井」もあり、静かなたたずまいを見せています。

客間である「光聚庵」は三笠宮妃殿下の命名により、「心月庵」は茶道裏千家家元千宗室宗匠の命名によるものであり、それぞれ異なった風情があります。

さらに、大広間や立礼席(静嘉軒)もあり、茶道の静寂を十分に楽しむことができます。



西解脱門

西解脱門











## 15.西解脱門



石柱だけの門であった裏門が、昭和61年12月に鉄筋コンクリート造りの中世和風様式の門に生まれ変わり、当山の輪奂に一層の厳かさを加えられました。

また、建立1周年を記念し第44世・隆天貫首のご揮毫「西解脱門」の縦額が取り付けられました。

年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和60	1985	川崎大師 裏門(解脱門)	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和60	松浦弘二 (意匠設計共)	松本構造設計	大林組	SRC造

# 総受付

総受付











## 2.護持志納金受付所・お護摩受付所



お護摩をお申し込みの方は、こちらのお護摩受付所までお越しください。

建物の1階には「お護摩受付所」と、「護持志納金受付所」があり、2階はご信徒の接待室となっています。

また、地階は寺宝展などの催し物の会場として使用されております。

年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和59	1984	川崎大師 総受付	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和59～62	松浦弘二・隆 (意匠設計共)	松本構造設計	大林組	SRC造

御水屋

御水屋







## 5.お水屋



大山門と大本堂を結ぶ参道の右側にある水屋にある水器は、昭和33年に御本尊御遷座を記念して奉納された水器であります。  
お参りの折にはまず水屋にて身を清めご参拝ください。

年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和38.06	1963	川崎大師 御水屋	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和38.06～43.05	松浦弘二 (意匠設計共)	大林組	大林組	RC造

納札殿

納札殿







年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
平成13.06	2001	川崎大師 納札殿	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	平成13.08~14.12	松浦弘二・隆 (意匠設計共)	大林組	大林組	RC造

# 浮御堂

浮御堂







右手遠方に降魔釈迦像が見える。その台座は昭和52年に大岡實建築研究所にて設計され新設された。(みかげ石の組積式)

## 14.降魔成道 釈迦如来像（ごうまじょうどう しゃかによらいぞう）



つるの池にある浮御堂からは、池をはさんで釈迦如来像を遙拝することができ、毎年12月8日には成道会が執り行われます。この池はお釈迦さまが沐浴された尼蓮禅河を表現し、周りの樹木は悟りを開かれたウルビルバーの森を表現しております。そしてお釈迦さまの背景に見える薬師殿の塔屋が、ブダガヤの大塔に準られ、お釈迦さまが成道された情景を想起することができます。

年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和53	1978	川崎大師 浮御堂	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和53～53.11	松浦弘二 (意匠設計共)	大林組	大林組	S、RC造

# 献香屋

献香屋











年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和38.06	1963	川崎大師 献香屋	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和38.06～43.05	松浦弘二 (意匠設計共)	大林組	大林組	RC造

経蔵

経蔵





## 17.経蔵



平成16年大開帳奉修記念事業として落慶されました。  
経蔵には中国最後の木版大蔵経「乾隆版大蔵経」7240巻が収蔵されています。

御本尊・説法釈迦如来の前に置かれた五鈷杵には、金箔の奉納をする事ができ、この奉納によって仏様との強いご縁を結ぶことが出来るお堂です。

年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
平成13.06	2001	川崎大師 経蔵	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	平成13.08～15.12	松浦弘二・隆 (意匠設計共)	大林組	大林組	RC造

# 大本坊

大本坊



唯一戦災で骨組だけが残った大本坊(久留弘文氏と小野薫氏による設計で昭和9年に完成している)を改修して一時、本堂として活用していた。昭和56年に本坊内を一部浄光殿に大改造した。その後、平成3年に屋根の銅板葺き替えおよび外部改修を行なっている















大開帳本修寺

大開帳本修寺

大本

大開帳本修寺















## 12.大本坊



大本坊は第二次世界大戦の戦禍で消失し、同時に大本堂も失ったため、一部改造・荘厳を施して昭和20年12月から仮本堂として活躍した建物です。

その後、大本堂再建の日まで仮本堂として使用され、昭和33年5月に御本尊様は現在の大本堂へ御遷座が行われました。

年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
平成03	1991	川崎大師 大本坊改修	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	平成03～04	松浦弘二 (意匠設計共)	既存建物	大林組	RC造

おみくじ・おふだ授所

おみくじ・おふだ授所







年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
平成02	1990	川崎大師 おふだ授所	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	平成02	松浦弘二 (意匠設計共)	大林組	大林組	S造

## 不動門

不動門



昭和50年に移築に伴い外装屋根の改修を大岡實建築研究所の手で行なっている。付属の透塀も新設した。

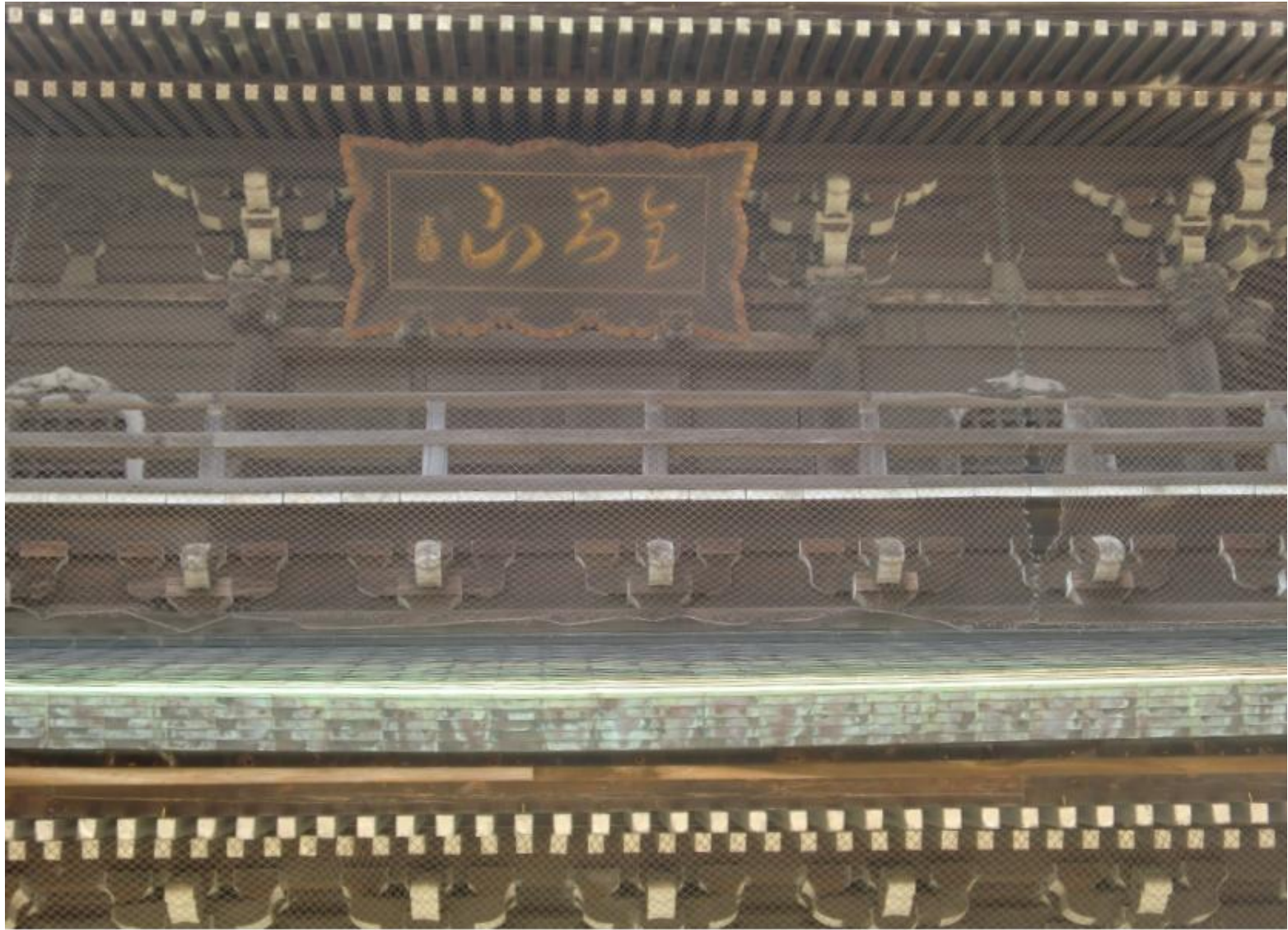
















## 7.不動門



第42世隆超大師正が昭和23年有縁の地から譲り受け移築建立されました。  
その山門(現在の不動門)は、昭和52年に現在の大山門が建立されたことに伴い、不動門として移築されました。

年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和50.04	1975	川崎大師 不動門改修	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和50.04～51.12	松浦弘二 (意匠設計共)	松浦弘二	大林組	木造

聖徳太子堂

聖徳太子堂



### 3. 聖徳太子堂



聖徳太子講並びに諸職人により昭和41年に奉納された聖徳太子像が奉られたお堂です。

毎年2月2日には聖徳太子年祭が執り行われ、年祭終了後には太子堂の前にて若鷺の面々によって見事なはしご乗りが披露されます。



## 鐘楼堂

鐘楼堂



昭和50年に屋根の改修と玉垣の新設を行なった。



## 11. 鐘楼堂



毎年大晦日には除夜法楽が執り行われたのち、午前零時より境内に鐘の音が鳴り響きます。

この鐘楼堂は、不動門と共に有縁の地より譲り受けたものであり、当山の戦後の復興を記念する重要な建物であります。

年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和50.04	1975	川崎大師 鐘楼改修	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和50.04～51.12	松浦弘二 (意匠設計共)	松浦弘二	大林組	木造

至真門

至真門





## 16.至真門



昭和53年に再建立された至真門は鉄筋コンクリート造りで、信徒会館の南玄関に通じ、薬師殿(平成20年11月落慶)への入り口として位置しています。

年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和54.08	1979	川崎大師 至真門	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和54.08～54.12	松浦弘二 (アドバイスのみ)	大林組	大林組	RC造

# 清浄光院

清浄光院















南無大阿彌陀佛









年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
平成07	1995	川崎大師 清浄光院	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	平成07~08	松浦弘二・隆 (意匠設計共)	大林組	大林組	RC造



# 三宝殿

三宝殿





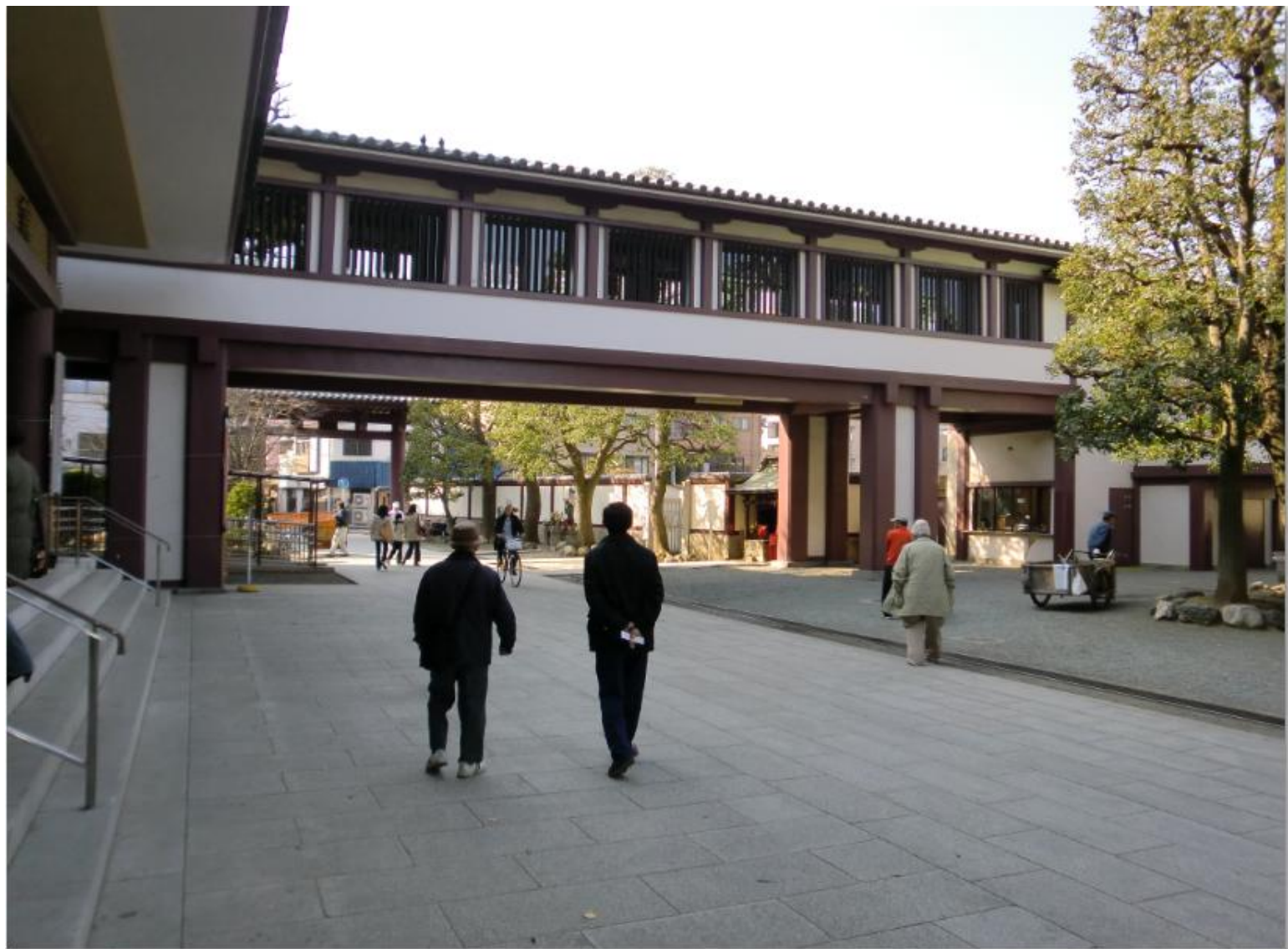




年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和42.12	1987	川崎大師 三宝殿	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和42.12～43.10	松浦弘二 (意匠設計共)	大林組	大林組	RC造

西廻廊(長庚廊)









年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和47.10	1972	川崎大師 付属家、廻廊	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和47.10～48.11	松浦弘二 (意匠設計共)	松本構造設計	大林組	RC造



北廻廊













年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和58.03	1983	川崎大師 北廻廊増築	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	昭和58.03～58.12	松浦弘二 (意匠設計共)	松本構造設計	大林組	RC造

## 境内便所

境内便所



トイレであってもこの程度のデザイン的配慮はしたい



年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
平成05	1993	川崎大師 信徒用便所	神奈川県川崎市川崎区大師町4-48	平成05	松浦弘二 (意匠設計共)	大林組	大林組	RC造



アプローチ

アプローチ







遠方に大山門が見える





築地塀

築地塀

















# 大本山川崎大師平間寺・境内図



歴代の貫首が眠る(左手は隆天前貫首のお墓)





## 18. 遍路大師



遍路大師尊像は、昭和48年(1973年)の弘法大師ご誕生1200年記念事業として造顕され、同年5月開眼法要が執行されました。毎年9月20日には[遍路大師年祭](#)が執り行われます。

当山の遍路大師尊像には健康、健脚を祈念して、献水されるご信徒の姿が多く見られます。また、併せて、尊像を結界する新四国八十八ヶ所霊場も創設され、当山第44世・中興第1世貫首(隆天大和上)が四国霊場巡排の際にいただいてこられたお土砂が埋められ、ここに各霊場の御本尊がお迎えされました。お砂踏み霊場として、全国各地からのご信徒の参拝が、日々つづいています。





ホームページ

[http://www.geocities.jp/flow\\_and\\_stock/ijsya-kanto/kawasakitaisi.html](http://www.geocities.jp/flow_and_stock/ijsya-kanto/kawasakitaisi.html)